

「行政経営プログラム2020」  
令和2年度の取組状況及び  
令和3年度の取組

【概要版】

# 行政経営プログラム2020の概要

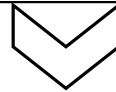
実施期間：令和2年度～令和6年度（5年間）

## 基本理念

限られた資源を最大限活用した、効率的・効果的な行政経営の推進  
～コストを縮減しつつ、「質」に力点を置いた諸改革の推進による より質の高い県民本位の行政サービスの提供～

## 基本方針

行政コストを縮減する「量」の改革を継続しつつ、情報通信技術（ICT）の積極的な活用などにより、効率的・効果的な行政運営に向けた「質」の改革を強化



### 3つの取組戦略

#### (1) 柔軟かつ機動的な組織づくりと人材の育成・確保 【組織の改革】・【職員の改革】

直面する様々な課題への対応や、長期構想の着実な実現に向け、効率的・効果的な施策展開を図るための組織体制を構築  
また、質の高い行政サービスを提供するため、県民から信頼されるプロフェッショナルな職員づくりを推進するとともに、全ての職員が活躍できる働き方改革を推進

#### (2) 県民の視点に立った行政サービスの提供 ～Society5.0時代にふさわしいスマート県庁の推進～ 【サービスの改革】・【業務の改革】

人口減少社会においても、ICTを使い効率的・効果的に行政サービスを提供する「スマート自治体」への転換に向けて、ICTを効果的に活用することにより、県民サービスの利便性向上と業務の効率化を推進

#### (3) 財政健全性の維持・向上 【財政運営の改革】

収支均衡にとどまることなく、引き続き歳入の確保や更なる行政コストの縮減に努め、将来の備えとして、必要な資金を基金に積み立てるなど、財政健全性の一層の向上を推進



不断に実践

目標：より質の高い県民本位の行政サービスの提供

## <取組戦略1> 柔軟かつ機動的な組織づくりと人材の育成・確保

項目	年度	主な取組
(1) 柔軟かつ機動的な組織づくり	R2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染拡大を受けた感染症対策室の体制の強化、業務が著しく増加した部門への応援職員の配置</li> <li>○政策課題を踏まえた組織体制を検討しR3年4月から以下組織を設置               <ul style="list-style-type: none"> <li>・全庁を挙げて取り組むデジタル化推進の司令塔として、デジタル推進課を設置</li> <li>・金沢城二の丸御殿の復元整備に着手するため、金沢城二の丸御殿復元整備推進室を設置</li> <li>・「いしかわ百万石文化祭2023（第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術・文化祭）」の開催準備を本格化するため、国民文化祭準備室の体制を強化</li> </ul> </li> </ul>
	R3	○新型コロナウイルス感染対策のため、業務が著しく増加する部門への応援職員の配置など
(2) スリムで効率的な組織運営	継続	○組織や事務事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底し、定員を適正に管理
(3) 県民から信頼されるプロフェッショナルな職員づくり		
①採用の確保	R2～	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員採用ポータルサイトの構築・運用</li> <li>○LINEを活用した職員募集活動の推進</li> </ul>
	R3～	○ナビゲータ制度の導入 大学生等の申込者に対し、若手職員が仕事内容・やりがい等を面談でPR
②積極果敢にチャレンジする人材の育成		
ア 人材育成ビジョンの見直し	R3	○働き方改革、ICT利活用などの環境の変化を踏まえ、アクションプランを改定
イ 職員研修の充実	継続	○通常の資質向上のための研修に加え、チームワーク強化に向けた研修の実施
	R3～	○働き方ステップアップに向けた研修の実施 中堅職員を対象に、限られた時間で効率的な働き方を学ぶ研修を実施
ウ 公務プラスワン活動の促進	継続	○職員の公務外の地域活動（ボランティア、自治会等）への積極的参加を推奨

項目	年度	主な取組
<b>(4) 全ての職員が活躍できる働き方改革の推進</b>		
①ワークライフバランスの推進	継続	○時間外勤務の縮減、年次有給休暇の取得促進 ○男性職員の育児休業等取得促進
	R2	○子育て世代向けワークスタイル事例集の作成
②女性職員が活躍できる環境の整備	継続	○女性職員のキャリア形成を支援する研修の実施 ○管理職やグループリーダーへの積極的登用
	R3～	○キャリアデザインカフェの実施 子育て中の職員等を対象に、先輩職員が育児と仕事の両立等を助言する場の開催
③多様で柔軟な働き方の推進	R2～	○在宅勤務制度の導入検討 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、試行的に導入 緊急事態宣言下においては、在宅勤務が困難な部門（感染症対策、ライフライン、予算・決算など）を除き、2班体制を実施
④健康管理対策の充実	R2～	○ストレスチェックの集団分析結果を活用した職場環境改善 集団分析結果を活用し、職場内討議を開催

### 主な数値目標

	<基準値>		<現状値>		<目標値>	
・職員数（知事部局）	3,384人	→	3,374人（R2）	→	維持（R6）	
・職員採用申込倍率（大卒程度）	4.7倍（R1）	→	4.3倍（R2）	→	増加（R6）	
・公務プラスワン活動実施率	66%（H30）	→	49%（R2）	→	80%（R6）	
・男性職員の育児休業取得率	13.6%（R1）	→	13.6%（R1）	→	30%（R7）※	
・1人1月当たりの時間外勤務時間数	15.5時間（H30）	→	15.5時間（R2）	→	14.0時間（R6）	
・年次休暇平均取得日数	10.5日（H30）	→	10.6日（R1）	→	13日（R7）※	※「石川県特定事業主行動計画」（R3.4策定）においてR7の目標値を設定
・本庁課長相当以上の女性職員割合	11.2%（H30）	→	12.0%（R2）	→	16%（R7）※	

## <取組戦略2> 県民の視点に立った行政サービスの提供

項目	年度	主な取組
<b>(1) 県民との対話と県政への県民参加の促進</b>		
① 県民対話の充実	R2～	○県政出前講座における施設見学型講座の拡充、オンライン講座の実施
② 県政情報提供の充実	R2～	○LINEを活用した広報の推進 新型コロナウイルス感染対策を含め、県政に関する様々な情報を積極的に発信 ○防災ホームページの多言語化
③ 県政への県民参加の促進	継続	○審議会委員の女性登用率向上 ○ふるさと納税の促進 新型コロナウイルス感染対策を用途に追加 (R2～) 返礼品に県の特産品を活用することで、本県の魅力のPRを強化 (R2～)
<b>(2) 県民本位の行政サービス改革の推進</b>		
① 利用者視点に立ったサービス・業務改革の推進	R2～	○業務プロセス見直しの推進 業務改善に向けた職員提案制度を実施
	R3～	○デジタル化推進本部に「行政サービス向上」「行政効率化」ワーキンググループを設置し、推進
② 行政のスマート化の推進	R2～	○AIを活用した定型業務の効率化 議事録作成の自動化 ○行政手続のオンライン化の推進 新型コロナウイルス感染対策に関連する諸手続でオンライン申請の仕組みを積極的に導入 国の法令等に基づかない行政手続の約99%において押印を廃止し、これらについて、件数の多い手続から優先的にオンライン化 →申請件数の9割をオンライン化 (R3)
	R3～	○添付書類等の削減 県営住宅入居に係る各種手続においてマイナンバーを活用した公的証明書の添付を省略 ○RPAを活用した定型業務の効率化 納付書作成、システム入力、データ集計事務等で順次実施

項目	年度	主な取組
③キャッシュレスによる利便性向上	R2～	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スマートフォン・クレジットカード（R3～）を利用した納税の導入</li> <li>○施設利用料金等のキャッシュレス化            県有施設等（26施設）において、新たにQRコード決済（PayPay）を導入            クレジットカード・電子マネー決済の対象施設をスポーツ施設等に拡大（R3～）</li> </ul>
④施設サービスの向上	R2～	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設利用者アンケートの拡充            対象施設を公の施設のほか、外郭団体の施設にも拡大</li> </ul>
<b>(3) 事務処理の工夫による効率的な働き方の推進</b>		
①ICT利活用による業務効率化、事務の簡素化	R2～	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Web会議等による会議の効率化            必要な機材の貸出を実施するなど、Web会議の活用を積極的に推進</li> <li>○モバイルワーク等の推進            出張時のメール確認などを私用端末（スマホ等）で行える仕組みを導入            テレワークシステムを導入し、在宅勤務において活用（R3～）</li> <li>○市町等への気象情報送信の自動化            気象台から気象情報を受信した際、自動で市町等へ送信できる仕組みを導入</li> </ul>
	R3～	<ul style="list-style-type: none"> <li>○内部管理事務の省力化            庶務申請手続の電子化の拡大、旅費支給事務の効率化を実施</li> </ul>

項目	年度	主な取組
<b>(4) 効率的・効果的な行政サービス提供に向けた民間・市町等との連携・協働</b>		
①民間ノウハウ・創意工夫を活用した行政サービスの提供	継続	○民間委託の推進 ○金沢港クルーズターミナルへの指定管理者制度の導入 (R2~) ○協定締結等による民間企業等との協働の推進
②市町・他県等との適切な役割分担と連携	継続	○市町職員との合同研修の充実 ○防災システムによる情報連携の強化 災害発生状況を電子地図上に登録し、市町等と共有 (R2~) ○他県との広域連携の推進

主な数値目標

	<基準値>	<現状値>	<目標値>	
・LINE友だち数 (広報)	3,000人 (R1)	→ 6,387人 (R2)	→	増加 (R6)
・審議会委員の女性登用率	41% (R1)	→ 42.6% (R2)	→	50% (R12) ※
・ふるさと納税額	572万円 (H30)	→ 6,292万円 (R2)	→	増加 (R6)
・電子申請件数	14,316件 (H30)	→ 21,089件 (R2)	→	19,000件 (R6)
・キャッシュレス導入施設割合	53% (H30)	→ 90% (R2)	→	90% (R6)
・公の施設全体の利用者満足割合	95% (H30)	→ 97.5% (R2)	→	増加 (R6)
・災害応援協定締結件数	136件 (R1)	→ 137件 (R2)	→	増加 (R6)

※「いしかわ男女共同参画プラン2021」(R3.3策定)においてR12の目標値を設定

<取組戦略3> 財政健全性の維持・向上

(1) 財政健全性の維持・向上の基本方針 「持続可能な財政基盤の確立」、「県債残高の抑制」、「地方交付税の確保と税制の抜本改革についての国への要請」

項目	年度	主な取組
(2) 歳入の確保 (3) 歳出の抑制と計画的な財政運営 (4) 県有資産マネジメント	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地方税滞納整理機構を活用した滞納整理の推進</li> <li>○県有財産の処分の推進、広告収入の確保</li> <li>○投資的経費の抑制</li> <li>○総人件費の適正管理</li> <li>○一般行政経費の見直し</li> <li>○金沢競馬の経営改善</li> <li>○公債費負担の平準化</li> <li>○県営住宅の管理戸数の見直し</li> <li>○外郭団体に対する県派遣職員の引き揚げ</li> </ul>
(5) 外郭団体の見直し	R2～	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公営企業の経営戦略の策定、流域下水道事業への公営企業会計の適用</li> <li>○県有建築物の個別施設計画の策定</li> <li>○外郭団体における中期目標の策定・公表</li> </ul>

主な数値目標

	<基準値>		<現状値>		<目標値>	
・ 納期内納税率	94.2% (H30)	→	93.9% (R2)	→	増加 (R6)	
・ 広告収入	485万円 (R1)	→	475万円 (R2)	→	増加 (R6)	
・ 実質公債費率	13.2% (H30)	→	12.9% (R2)	→	18%未満 (R6)	
・ 県営住宅管理戸数	5,304戸 (H30)	→	5,361戸 (R2)	→	5,264戸 (R7) ※	※公営住宅の計画的な整備としてR7の目標値を設定